

介護施設で 穏やかに最期まで 過ごすことを考える in 堺

開催日

11月4日(土)

午後2時30分～午後4時30分(開場:午後2時)

会場

堺市総合福祉会館 大ホール

南海高野線「堺東駅」下車700m 堺市堺区南瓦町2番1号



長尾和宏医師 (日本尊厳死協会副理事長)

参加費

無料(定員490名)

介護施設に入居を検討されている方やご家族、医療・介護従事者の方々、お問い合わせのうえ是非ご参加ください。

参加お申込み

お申込みは右のQRコードからお願いします。
資料準備のため申し込み制にしていますが
当日参加も可能です。(定員まで先着順)



共同
開催



一般社団法人 大阪府堺市南区御池台3丁1-4
LYKKE Mail:info@lykke-life.jp
HP:https://lykke-life.jp

パーキンソン病患者・家族の会
堺のびやかクラブ

公益財団法人
日本尊厳死協会 関西支部
JAPAN SOCIETY FOR DYING WITH DIGNITY

介護施設で穏やかに最期まで過ごすことを考えるin堺

介護施設は誰しが入居する可能性のある場所です。

しかし、入居した介護施設によっては、次のようなことを言われることがあります。

リハビリしているのに、「歩くと危ないので、ベッドから降りないでください」

食べたいものがあるのに、「食べると危ないので、食べないでください」

施設によっては、自宅であったはずの、様々な自由が制限されることも珍しくありません。

どんな介護施設であれば、穏やかに自分らしく、最期まで過ごせるのでしょうか？

プログラム

- 14:00～14:30 開場
- 14:30～14:45 発起人からの提案とご挨拶
梶原崇志 (LYKKEみいけ代表理事)
- 14:45～15:45 講演:「介護施設で穏やかな最期を迎えるために」
長尾和宏医師 (日本尊厳死協会副理事長)
- 16:00～16:30 シンポジウム



長尾 和宏

内科医・作家 香川県善通寺市出身 東京医科大学卒 関西国際大学客員教授

1958年生まれ。医学博士。公益財団法人日本尊厳死協会副理事長。1995年に尼崎市で長尾クリニックを開業。町医者として2500人を看取る。同クリニックを65歳の誕生日に定年退職。メディア出演、著書「平穏死10の条件」「ばあちゃん、介護施設を間違えたらもっとボケるで!」など多数。



梶原 崇志

神経難病の在宅医療を行う医療機関や、訪問看護の運営を行う。一般社団法人LYKKE設立。

2024年1月、大阪府堺市御池台にパーキンソン病の方の医療・介護付きシェアハウス「LYKKEみいけ」を開設予定。



パーキンソン病患者・家族の会 堺のびやかクラブ

2003年、8名の仲間たちが集まり、堺のびやかクラブ設立。現在、「パーキンソン病患者・家族の会」として会員100名をこえる。毎月の交流会をはじめ日々活動中。

申し込みの流れ

1 右のQRコードより
参加申し込み下さい

LYKKEみいけホームページにも
申し込みフォームへのリンクを
掲載しています。



2 フォームを入力して
送信。申し込み完了

講演者(長尾和宏氏)への質問
項目を設けております。皆様のご
参加お待ちしております。

